

自衛隊中央病院診療技術部長が語る 「新型コロナ感染症を通じて学んだ危機対処法」



リスクマネジメントを日常から最も厳格かつ効率的に行っている代表的な組織として、自衛隊が挙げられます。
「DP号災害派遣」、「自衛隊中央病院での109人の感染者受入れ」、「大規模接種会場の設置」といった前例がなく失敗が許されない現場全てに関わった幹部医官が、危機対処への備えについて語ります。

**【演者】 自衛隊中央病院 診療技術部長
水口 靖規 一等陸佐**

日時

令和5年**6月8日**(木) **18:00-19:00**

会場

講義棟1階 国際交流ラウンジ
(オンラインもあります。申し込み時に選択してください。)

対象者

島根大学出雲キャンパス学生及び教職員
◎現地参加者はマスク着用、手指消毒など**感染対策にご協力ください**

申込

こちらからお申し込みください
<https://forms.gle/rFXaov8WKZ8GSLCFA>
締め切り 6月7日(水)17:00



主催: 島根大学医学部環境保健医学講座
共催: 島根大学医学部附属病院高度外傷センター
島根大学医学部附属病院医療安全管理部

博士課程対象科目: 環境医学 I (D91)、環境医学 II (D92)
修士課程対象科目: 生活環境と健康の科学 (M18)

大学院生問い合わせ先: 島根大学医学部環境保健医学講座(環境予防医学)
准教授 田村 太郎 (tarou@med.shimane-u.ac.jp)